
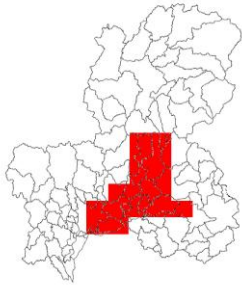


ケタガネソウ	<i>Carex ciliatmarginata</i> Nakai	絶滅危惧I類	
		カヤツリグサ科	
選定理由	生育地が限定される上に、もともとの個体数が少なく、継続的な減少が予測されるため。	写真(清水英彦) 標本 	
形態の特徴	タガネソウに似るが、花茎は15cm以下で、全体的に小型。葉はタガネソウより短く、全体に短軟毛がある。小穂は1節に1本、多くは雄雌性で下部は雌性。雄鱗片、雌鱗片とも白色で中脈は緑色、鋭頭～鈍頭、雌鱗片は全体に毛がある。果胞の形状はタガネソウと殆ど同じで、全体に短軟毛を密生する点で異なる。		
生態的特徴	乾燥した林内や岩場に生育する多年草。		
分布状況	本州・四国・九州・対馬に分布し、岐阜県では県南東部と中部に分布する。		
減少要因	開発に伴う山林伐採。		
保全対策	山林の保全。		
特記事項			
参考文献	勝山輝男. 2005.「ネイチャーガイド 日本のスゲ」. 文一総合出版, 東京. 星野卓二・正木智美・西本眞理子. 2011.「日本カヤツリグサ科植物図譜」. 平凡社, 東京.		

文責:清水英彦